

# 平山郁夫シルクロード美術館 News

The Hirayama Ikuo

Silk Road Museum

News

## No. 15

平成24年12月1日発行



平山郁夫「祈りの行進・聖地ルルド・フランス」(部分)  
2008年 紙本彩色

フランス南西部、ピレネー山脈のふもとに位置する町ルルドは、19世紀半ばに聖母マリアが現れ、いくつもの奇跡が起きたことで有名なカトリック教会の聖地である。人口15000人の小さな町には、世界各地から年間500万人の信者が奇跡を求めて訪れる。

1858年、貧しい家庭に生まれた少女ベルナデッタは、薪拾いに来っていた山の洞窟で白いベールをまとった聖母マリアに出会った。マリアのお告げにしたがってベルナデッタが手を触れた地面からは泉が吹き出し、その水を飲んだ人は病気が治ったという。奇跡の洞窟の白いマリア像の下には、今でもこんこんと泉が湧き続けている。毎晩9時過ぎにミサが行われ、ロウソクを手にした巡礼者たちは洞窟に向かって行進する。

平山郁夫は2007年4月にこの地を訪れ、祈りの行進を目にした。祈りという行為は国や民族、宗教を超えた普遍的なものであり、人間にとって最も切実な心情である。闇に灯るロウソクの明かりは、人びとの心に灯る希望の光を表しているのだろう。巡礼者たちの静かな行進は、平山郁夫が生涯かけて歩んだ祈りの旅路と重なって、見る者に迫ってくる。



公益財団法人

平山郁夫シルクロード美術館

# 展覧会紹介 The Hirayama Ikuo Silk Road Museum Exhibition

## 回想 平山郁夫 -後編- シルクロード 大いなる旅路

2012年11月8日(木)～2013年3月11日(月)

《回想 平山郁夫-前編-》では、平山郁夫の故郷である瀬戸田(現・広島県尾道市)の風景や人々を描いた少年期にはじまり、美術学校(現・東京藝術大学)時代の絵とデッサン、自らの画風を確立した《仏伝》シリーズ、異文化を肌で感じたヨーロッパ留学、カップドキア遺跡やバーミヤン遺跡の壁画模写を通じてシルクロードに歩み出した姿を紹介しました。

その後、平山郁夫は生涯にわたって自身の脚でシルクロードを踏みしめ、スケッチを重ね、シルクロードに取材した作品を世に送り続けます。シルクロードの東端・日本の古都にも大きな関心を寄せ、京都を題材とした《洛中洛外》シリーズに新たな境地を切り開きました。

《回想 平山郁夫-後編-》となる本展では、当館所蔵の作品の中から、旅を続けながら描いたシルクロード各地の作品のほか、日本の原点・京都の風景、最晩年の傑作《大シルクロード》シリーズなど、画家・平山郁夫の後半生の大いなる道程を紹介いたします。

〈表紙の絵「祈りの行進・聖地ルルド・フランス」も同展にて公開〉



〈平山郁夫「平成洛中洛外(左隻)」2004年



「太子出城」1969年



「浄土幻想 宇治平等院」2004年

### 同時開催

仏教や仏教芸術が東西文化交流の絆として大きな役割を果たしたと考える平山郁夫は、1979年、そのもっとも重要な中継地の一つ敦煌をはじめ訪れ、莫高窟の壁画に大きな感動を覚えたといいます。現地に足を運んだのは18回、残されたスケッチブックは16冊を数えます。今回は平山の感動をじかに伝えるスケッチブック、アトリエに残されていた未発表の素描のほか、敦煌ゆかりの本画、大下図などを展示いたします。



「敦煌莫高窟菩薩像 第57窟南壁」1999年

### Information

- ◆ 休館日 毎週火曜、年末年始(12月25日～1月3日)
- ◆ 開館時間 午前10時～午後5時(入館は午後4時30分まで)
- ◆ 観覧料 一般1200円/高・大学生800円/小・中学生無料  
※障害者手帳をお持ちの方無料、介護の方1名まで600円  
※70歳以上の方、20名様以上の団体 各100円割引
- ◆ 主催 公益財団法人 平山郁夫シルクロード美術館
- ◆ 後援 山梨県 山梨県教育委員会 北杜市 北杜市教育委員会  
山梨日日新聞社・山梨放送 信濃毎日新聞社 ハケ岳ジャーナル NHK甲府放送局 テレビ山梨 FM富士 FMハケ岳
- ◆ 協賛 キリンビール

### 次回の展覧会案内

## 中国少数民族の染織 -ミャオ族を中心に- 2013年3月16日(土)～6月23日(日)

貴州省ミャオ族、雲南省ハニ族の民族衣装を紹介しながら、中国少数民族の暮らしや歴史、文化を紹介します。



「男性祭礼衣装」中国貴州省ミャオ族 20世紀

## 第3回シルクロード研究会

2012年12月8日(土) 午後1時30分～4時

選りすぐりの収蔵資料を間近で鑑賞していただく講座です。初年度は当財団の収蔵品の中で最も充実している「カシミール・ショール」を3回シリーズで取り上げます。第3回はイランとヨーロッパで作られたカシミール・ショールをご覧いただけます。美術館展示では味わうことのできない特別な機会をご堪能ください。

申込方法：電話またはFAXにて受付  
(TEL 0467-25-0251 FAX 0467-61-3435)  
※申込多数の場合は先着順  
場 所：シルクロード研究所(鎌倉市二階堂120-15)  
参加費：3500円(賛助会員3000円)



## 特別講演会〈対談形式〉

### 平山郁夫と中国～楼蘭を旅して～

2012年12月15日(土) 午後2時～3時30分

「回想平山郁夫-後編-シルクロード 大いなる旅路」展に伴う関連講演会。平山郁夫にとって楼蘭は長く未踏の地でした。やがて玄奘三蔵が旅した地をすべて訪れたいという画家の長年の願いが叶い、1986年、美知子夫人を伴い、はじめて楼蘭に足を踏み入れます。それに先駆けて1980年4月にスタートした『NHK特集シルクロード』は、日本に一大シルクロードブームを巻き起こしました。この番組の取材団長を務めた鈴木肇氏は、豊かな経験、人脈、知識を駆使して新疆ウイグル自治区内の許可の取りにくい場所、知られざる遺跡などの貴重な取材を行い、撮影してまわりました。

平山郁夫と関わりの深いお二人に、平山郁夫ともに旅したインド・カンボジアのお話を含めて、新疆ウイグル自治区の遺跡秘話や、取材旅行の思い出について語っていただきます。

参加費：無料 申込不要(ただし入館券が必要です)  
場 所：平山郁夫シルクロード美術館



他会場で見られる平山郁夫シルクロード美術館コレクション

The Hirayama Ikuo Silk Road Museum  
Collection

### 韓国国立中央博物館(ソウル)

●2012年11月26日(月)～2013年2月17日(日)

ガラス器370点ほか

※MIHO MUSEUM、岡山オリエント博物館に巡回予定

### 「やまなしの美術大全Ⅱ」

●2013年6月15日(土)～6月30日(日)

山梨県立美術館

平山郁夫の作品、ガンダーラ彫刻 各1点(予定)

### 龍谷ミュージアム

●2013年4月20日(土)～6月30日(日)

ガンダーラ彫刻、染織、ガラス器ほか

## ヴェトナム旅行のひとこま

平山郁夫シルクロード美術館館長  
平山美知子

平山と私は、ツアーのない時代から旅を始めました。旅行する地域の歴史や地理を知らない私達は、その道の権威といった先生方から多くの事を教えていただき、その先生方とも旅行もしましたし、有能なガイドを紹介していただいた事もありました。

それですから、私達の旅行は意義のある旅行となり、平山の写生も無駄がなく、出来上がった絵は人の心を打ったのだと思います。

今迄に、何処にも発表しなかった旅行の一つを書いてみようと思います。

1993(平成5)年1月1日、平山が新春のNHKスペシャル生中継「アンコールワット」に国連代表の明石康氏と写真家の大石茅野さんと出演する事になり、1992年年末に日本を出国しました。アンコールワットのあるカンボジアは、インドシナ半島でヴェトナム、ラオスと並んでいます。アメリカが北ヴェトナムの共産主義浸透を阻止し、民主主義を守る為に北爆し、局地戦争へと拡大したものの、結局アメリカ軍は撤兵せざるを得なくなった——その悲惨な戦争の様子をアメリカ映画でいくつも見ていた事もあり、「アンコールワット」収録前に、終戦後10年経ったヴェトナムへもゆく事にしたのです。



1992年12月 ホーチミンよりヘリコプターでオケオに向かう  
(右から3人目と5人目に平山夫妻)

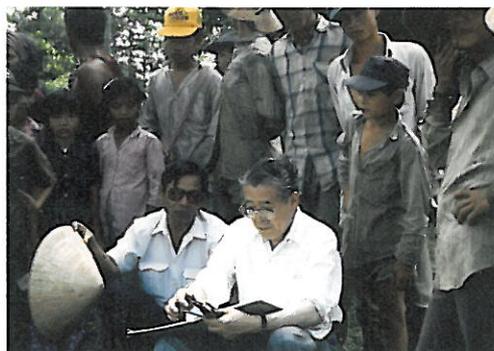
NHKアートの玉井賢二社長と、喜多郎の音楽で有名なNHK特集「シルクロード」のチーフ・ディレクター鈴木肇氏が同行して下さる事になりました。旅は同行者によって教えていただく事も多く、楽しくもなります。

首都ハノイ、古都フエ、南のホーチミン(サイゴン)と見て廻りましたが、戦争の跡は何もなく、食べるものも日本の大根を煮たおでんに似ていて親しみを感じる程でした。

A.D.1-7世紀に扶南王国のあったオケオ遺跡はヴェトナム戦争の激戦地であったので、其処へゆく事になり、すぐにヘリコプターを用意して下さいました。オケオは深い森の外に、平原が広がっていました。ヘリは無事に平原に着陸しました。私達はヘリを降りて原野を見渡しましたが、遺跡らしいものは何ひとつ見当たりません。そのうち、湧いて出て来た様に、人が集まって来ました。平山はいつもの様に写生を始めていました。

それまで絵を描く様な人を見た事がないのか、人々は平山を取り囲んでしまいました。森を描いている平山のために、その場所を空けてもらう騒ぎになった位です。

村で飼われている犬も何匹も集まって来ました。その中の一匹は、取り囲んでいる人の足の間からなんとか平山を見ようとしている様子がとても楽しく、その事で、ヴェトナムの思い出は明るいものになりました。



スケッチする平山画伯を取り囲む人々

## ウズベキスタン旅行後記

2012年10月19日(金)～26日(金)、平山郁夫シルクロード美術館の企画でウズベキスタンを訪問いたしました。2010年夏に企画したトルコ訪問旅行に続く第2弾の海外展覧会訪問企画であり、当館賛助会員を始め親交の深い鎌倉ユネスコ協会の皆様や一般参加者等、合計52名の参加がありました。

ウズベキスタンは、かつて中国からローマ帝国までを東西につないだ交易路・シルクロードの要衝の地として栄えたサマルカンドやイスラムの世界観を色濃く映す美しい都ブハラ、近代的な首都タシケントなどで知られた中央アジア有数の国です。

21日(日)午前には、故平山郁夫前理事長がタシケントに設立した「平山郁夫国際文化のキャラバンサライ」を訪問いたしました。「考古学研究、展示施設を中心に、文化芸術に志を持つ全世界の若者が宿泊し、ボードレスに交流できる施設にしたい。国際交流の拠点として、現地に根付くことを強く願っている。」と平山先生はおっしゃっています。敷地内には功績を称えた胸像が置かれ、訪問した日には平山絵画の展示だけでなく歌のレッスンや現地の方の絵画展示、各地の遺跡で出土した文物が陳列されていました。

同日午後には、Palace of Youth Creativity(タシケント)で開催される企画展「Art and Life of Uzbekistan, Japan and Great Silk Road」の内覧会に参列いたしました。これは日本とウズベキスタンの外交関係樹立20周年記念事業に位置



《2002年に設立された「平山郁夫文化のキャラバンサライ」》  
※「キャラバンサライ」とは、かつてシルクロードを旅した隊商が泊まった宿泊場と取引場を兼ねた隊商宿のこと。

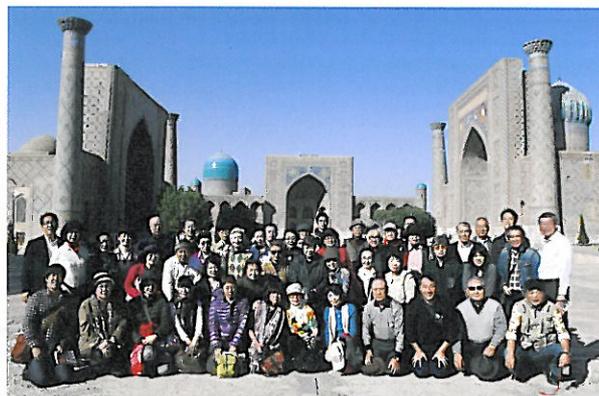
づけられ、平山郁夫の絵画並びにウズベキスタンにおける活動や名誉市民等の賞状、画材やスケッチブック等が展示されています。ウズベキスタン側の要人や日本の黒田大使(駐ウズベキスタン特命全権大使)を始め多くの方が出席され、メディアの取材もありました。また、子ども達の民族舞踊のパフォーマンス等も披露されました。

その後は、ブハラとサマルカンドなどの世界遺産を巡りました。平山館長が制作した当財団のロゴマーク(連珠文様に鳥の絵)は、7-8世紀にウズベキスタンを支配していたソグド民族(ササン朝ペルシャ)の錦からデザインを頂いており、同様の紋様が描かれた壁画を見ることもできました。まさにシルクロードを象徴する地への旅となりました。

(事務局 松山記)



《展覧会を観覧する黒田大使や現地の要人達》



《サマルカンドのシンボル「レジスタン広場」を訪問》

# 美

## 術館スタッフ研修旅行

○2012年10月30日(火)

○参加：29名

○見学場所：出光美術館 東京国立近代美術館

毎年恒例のスタッフ研修旅行は、日帰りで東京の美術館を巡りました。最初は、皇居のお濠に面した帝劇ビル9階にある出光美術館に。特別展『琳派芸術II』は、京で成熟した優美な琳派芸術を江戸の地に再興し、“江戸琳派”の祖として知られる酒井抱一と、その高弟・鈴木其一を中心とした江戸琳派の粹美を紹介する展覧会で、とても充実した内容でした。高層階の展望窓から臨む皇居の光景も堪能しました。

昼食は帝劇ビル地下にある『桂園』で中華料理を頂きました。その後、バスの出発時刻まで丸の内を散策するフリータイムとなり、洒落た店でお買い物したり、リニューアルしたばかりの東京駅の写真を撮ったりと、日本のビジネス拠点である丸の内エリアを満喫しました。

そして、午後は東京国立近代美術館へ。3グループに分かれてボランティアスタッフの詳細な解説を聞きながら展示を見て回りました。『美術にぶるっ!ベストセレクション日本近代美術の100年』と題した特別展は、近代美術の100年を回顧する大展覧会で、これまでに一度は目にしたことがある有名な作品がずらりと並び、見応え十分でした。名品揃いであることもさることながら、60年間の収集活動の成果を問う第1部、60年前の日本における近代美術館誕生の時代を考察する第2部とテーマごと

に分かれた展示に特徴があり、両者が緊密に連動して、展覧会のテーマどおり「ぶるっ!」という感動を体験することができました。ただ、スタッフの熱心な作品解説で滞在時間の大部分が占められたため、ほかの作品の鑑賞が駆け足になってしまったことが少々心残りでした。

夕方に現地を出発、談合坂サービスエリアでお土産の購入をかねて休憩をとり、予定どおりの時刻に美術館に到着、解散しました。秋の好天にも恵まれ、充実した美術鑑賞の一日となりました。



### 鑑賞ワークシートが出来ました

小中学生向け『鑑賞ワークシート』ができました。シートは《仏像鑑賞》《日本画鑑賞》の2冊と、『折りたたみ式仏像ガイドシート』の全3種類です。クイズ形式で楽しみながら学ぶことができます。小学校低学年～中学生くらいまで対応可。学校の校外学習にもお役立ていただけます(その場合は事前にご連絡ください)。美術館入り口にて無料配布しておりますので、幅広くご利用ください。



# イベント報告

(2012年4月～11月)

## ○ワークショップ



7月16日(月・祝)「甲府アイメッセ・夏休み自由研究プロジェクト」  
「シルクロードのストラップ&うちわ作り」  
講師:ボランティアスタッフ2名、美術館スタッフ  
参加者:小学生68名



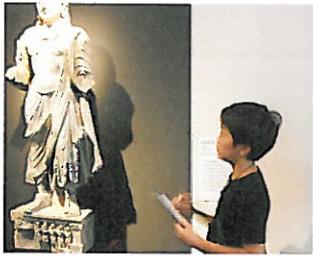
7月29日(日)「木工教室～シルクロードのマイ箸づくり～」  
講師:木工房いとうぐみ(伊藤真樹)  
参加者:大人6名



8月4(土)「陶芸教室～土偶・埴輪を作ろう～」  
講師:八ヶ岳陶芸教室いち(荒木いち夫)  
参加者:小学生2名



8月5日(日)「出張絵手紙教室&うちわ作り」(北杜ふるさと祭にて)  
講師:ボランティアスタッフ3名、美術館スタッフ  
参加者:小中学生92名



8月9日(木)「ぶつぞう写生大会」  
講師:ボランティアスタッフ1名、美術館スタッフ  
参加者:小学生2名



8月18日(土)「すごろくdeシルクロード!」  
講師:ボランティアスタッフ2名、美術館スタッフ  
参加者:親子12名



9月22日(土)「陶器の絵付け教室～シルクロードを通ってきた吉祥文様を描く～」  
講師:陶房のぎ(津村郁美)  
参加者:大人6名、中学生1名



10月14日(日)「ステンドグラス教室～シルクロードを渡ってきたガラス細工～」  
講師:ステンドグラス田工房(田畑広)  
参加者:大人4名

## ○講演会・シンポジウム



4月28日(土)「平山郁夫 世界遺産 高句麗古墳を描く」関連講演会・シンポジウム  
講師:(講演会)宮廻正明、染谷香理、狩俣公介、文真英  
(シンポジウム)青柳正規、有賀祥隆、伊東順二、北郷悟、宮廻正明、荒井綾  
参加者:80名

## ○シルクロード研究会



6月16日(土)第1回  
講師:平山美知子、道明三保子  
参加者:大人11名  
9月15日(土)第2回  
講師:道明三保子、美術館スタッフ  
参加者:大人12名

## ○コンサート



10月6日(土)「『神々の島』バリ島の舞踊とガムラン音楽」  
演奏者:WBスタマニ&ウロッツテナヤ  
参加者:204名

11月10日(土)「内覧会特別演奏会」  
演奏者:劉薇(ヴァイオリン独奏)  
参加者:150名

## ○『いちりんの花』感想文展示



平山弥生・平山美知子画の絵本『いちりんの花』に寄せられた感想文が400通に上り、美術館で展示いたしました。8月には、以前平山弥生氏が読み聞かせに訪れた南相馬市から小学生の親子12名が来館し、表彰式を執り行いました。

## ○オープニング

6月29日(金)「回想 平山郁夫-前編-仏の道を求めて」オープニング

11月10日(土)「回想 平山郁夫-後編-シルクロード 大いなる旅路」オープニング

## ○スクールプログラム

- ・4月12日(木)甲陵中学校1年 40名(展覧会見学・絵手紙)
- ・5月11日(金)高根中学校1年 80名(展覧会見学・絵手紙)
- ・6月22日(金)小泉小学校2年 7名(「地域たんけんたい」で美術館を探検)
- ・7月30日(月)長坂中学校美術部 10名(展覧会見学・スケッチ)
- ・8月 2日(木)葺崎東中学校美術部 23名(展覧会見学・スケッチ)
- ・8月 2日(木)須玉・明野育成会 40名(展覧会見学・絵手紙)
- ・8月 8日(水)駒ヶ根東中学校美術部 33名(展覧会見学・感想文とスケッチ)

## ○鎌倉市立第一小学校「出張写生教室」作品の展示

2011年11月、同校で5年生130名を対象とした写生教室で描かれた全作品を美術館で一般公開いたしました。児童の中には展示された自分の作品を見に、夏休みを利用して家族で来館してくれました。



# 開館カレンダー

12 December							1 January							2 February							
SUN	MON	TUE	WED	THU	FRI	SAT	SUN	MON	TUE	WED	THU	FRI	SAT	SUN	MON	TUE	WED	THU	FRI	SAT	
						1			冬期休館			4	5						1	2	
2	3	4	5	6	7	8	6	7	8	9	10	11	12	3	4	5	6	7	8	9	
9	10	11	12	13	14	15	13	14	15	16	17	18	19	10	11	12	13	14	15	16	
16	17	18	19	20	21	22	20	21	22	23	24	25	26	17	18	19	20	21	22	23	
23	24	冬期休館					27	28	29	30	31	24	25	26	27	28					

3 March							4 April							5 May							
SUN	MON	TUE	WED	THU	FRI	SAT	SUN	MON	TUE	WED	THU	FRI	SAT	SUN	MON	TUE	WED	THU	FRI	SAT	
					1	2		1	2	3	4	5	6				1	2	3	4	
3	4	5	6	7	8	9	7	8	9	10	11	12	13	5	6	7	8	9	10	11	
10	11	展示替			16	14	15	16	17	18	19	20	12	13	14	15	16	17	18		
17	18	19	20	21	22	23	21	22	23	24	25	26	27	19	20	21	22	23	24	25	
24	31	25	26	27	28	30	28	29	30	26	27	28	29	30	31	26	27	28	29	30	31

11/8～3/11「回想 平山郁夫(後編)シルクロード 大いなる旅路」展  
 3/16～6/23「中国少数民族の染織」展  
 3/16～6/23「シルクロードに暮らす人々(仮)」展

※12/25～1/3は冬期休館  
 ※3/12～15は展示替えのため休館  
 ※4/30,5/1,5/2は開館  
 ●…は閉館日です

## 賛助会 だより

### 賛助会会員募集

賛助会は美術館の活動を支援するとともに、会員の皆様の交流をはかることを目的として発足いたしました。皆様から寄せられました会費は、展覧会の開催、講演会・講座の開催、国際交流、美術館の維持管理などに使用されます。賛助会員にはさまざまな特典(詳しくは美術館HPをご覧ください)のほか、交歓会等イベントも予定しております。皆様のご入会を心よりお待ちしております。

- ◆会費 個人会員……10,000円  
 家族会員……15,000円  
 法人会員……100,000円

◆受付期間 随時受け付け(毎年7月に更新。12～3月までにご入会の方は初年度の年会費は半額、4～6月ご入会の方は翌年6月末日まで有効)。

◆申込方法 申込用紙に必要事項をご記入のうえ美術館にご郵送いただき、所定の銀行または郵便局の口座に会費をお振り込みください。申込用紙ご希望の方は、美術館HPからダウンロードするか、美術館にご請求ください。

## お知らせ

### 平山美知子作品展

10月18日(木)～12月24日(月)  
 ○場所/ギャラリー&ショップ垂絲花

ギャラリー&ショップ垂絲花では2階ギャラリーにて平山美知子館長による作品展「若き日の軌跡、そしてシルクロード」展を開催しております。平山館長によるシルクロードを題材にした版画作品の他、学生時代に描いた猫や雀のスケッチ、日本画で描いた牡丹の花など初公開となる作品を展示し、平山館長の感性を感じることができの一室となっております。また1階ショップではクリスマスセールを、3階ギャラリーでは八ヶ岳在住のアーティストによるスケッチ展を開催しております。入場は無料ですので、美術館にお立ち寄りの際はギャラリー&ショップ垂絲花にもお気軽にお立ち寄りください(※毎週火曜定休)。

Gallery&Shop 垂絲花  
2階ギャラリー展示のご案内

平山美知子作品展  
「若き日の軌跡、  
そしてシルクロード」  
2012.10.18Thu.～12.24Mon.



入場無料



平山郁夫シルクロード美術館ニュース 第15号 平成24年12月1日発行  
 発行 公益財団法人平山郁夫シルクロード美術館  
 〒408-0031 山梨県北杜市長坂町小荒間2000-6 Tel 0551-32-0225  
 URL <http://www.silkroad-museum.jp>